

特別展

紙と墨

にこめたメッセージ

— 書にみる円了スピリット —

奮進如帝
活躍似龍

井上円了書



2023年

10月16日(月) - 12月22日(金)

東洋大学井上円了記念博物館

Inoue Enryō Memorial Museum, Toyo University



開館時間 [月曜日-金曜日] 9時30分-16時45分

[土曜日] 9時30分-12時45分

入館料 無料

休館日 日曜日、11/3(金・祝)-11/6(月)、11/23(木・祝)

〒112-8606 東京都文京区白山五丁目28番20号 東洋大学白山キャンパス5号館1階
TEL 03-3945-8764(直通) <https://www.toyo.ac.jp/about/founder/iecp/museum/>

《奮進如虎 活躍似龍》 井上円了書 大正8年(1919) / 井上円了肖像写真 明治22年(1889)



東洋大学

書は、中国や日本で古来より墨・紙・筆を用いて文字を書くことで表現され、作品にはその人自身の感性や精神、想いが込められてきました。明治20年(1887)、東洋大学の前身となる私立哲学館を創立した哲学者の井上円了もまた、61年の生涯のうちに数多くの書作品を残しました。

円了が本格的に書の制作を開始したのは、明治30年代初めのことです。この頃、円了が哲学館での教育活動とともに力を入れていたのが、全国巡回講演(巡講)でした。

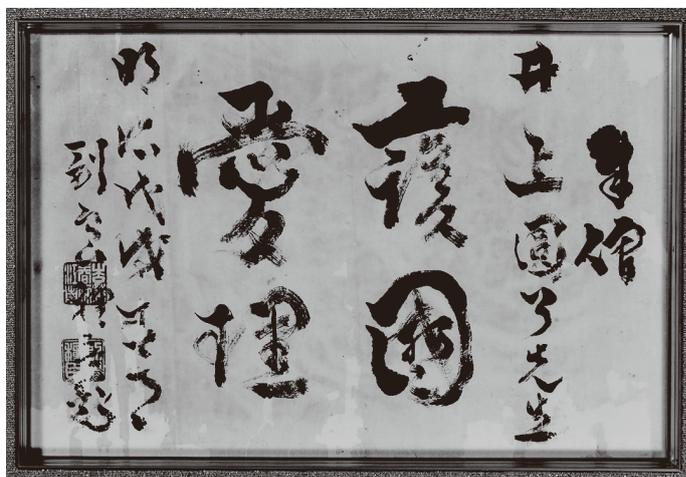
全国巡回講演とは、文字通り、自ら全国各地に足を運び講演を行うもので、民衆に哲学を広めるとともに、寄付を募って、自身が行う教育事業の資金を集めることが大きな目的となっていました。円了は、ひとりでも多く寄付に応じてもらえるよう、各地で寄付してくれた人へのお礼として、自作の書を贈呈しました。このようにして揮毫された書は、旅先で目にした光景や自らの主義・思想を詩にしたもの、さらには、駄洒落を交えたユーモアあふれる歌など、バラエティに富んだ内容で、魅力的な作品が数多く存在します。

今回の展示では、それら円了の書の中から、主義・思想が表れた作品を中心に年代を追ってみていきます。書を通して、時代ごとの「円了スピリット」を感じていただけたら幸いです。

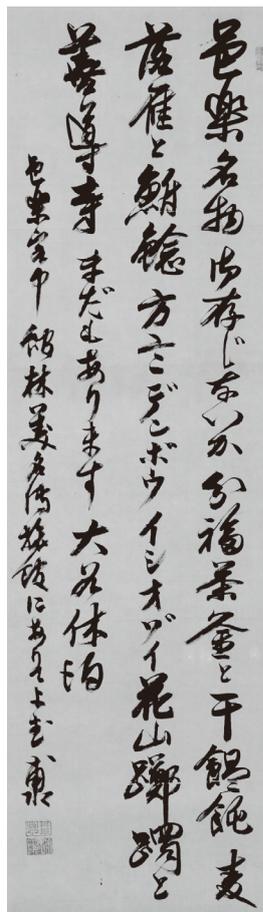
あわせて、本年は、円了が「精神上の師」と仰ぐ勝海舟の生涯200周年にあたることから、これを記念して、井上家旧蔵の海舟の書も公開します。書の制作を含め、円了的行動に大きな影響を与えた海舟との師弟の絆にも思いを巡らせながら、ぜひ、ご覧ください。



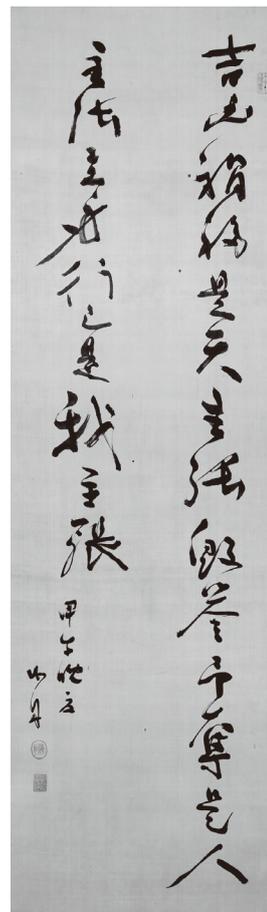
4



1



3



2

- 1 「護国愛理」 副島種臣書 明治三二年 東洋大学井上円了記念博物館所蔵
- 2 「吉凶禍福天主張」 勝海舟書 明治一七年 東洋大学井上円了記念博物館所蔵
- 3 「邑名名物御存じないか」 井上円了書 大正六年 東洋大学井上円了記念博物館所蔵
- 4 井上円了が使用した落款印 東洋大学井上円了記念博物館所蔵

東洋大学井上円了記念博物館

◆ 開館時間

[月曜日-金曜日] 9時30分-16時45分
[土曜日] 9時30分-12時45分

◆ 入館料

無料

◆ 特別展開催期間中の休館日

日曜日、
11/3(金・祝)-11/6(月)、11/23(木・祝)

〒112-8606

東京都文京区白山五丁目28番20号

東洋大学白山キャンパス5号館1階

TEL 03-3945-8764(博物館直通)

<https://www.toyo.ac.jp/about/founder/iecp/museum/>

Inoue Enryō Memorial Museum



- 都営地下鉄三田線「白山」駅下車徒歩5分
- 東京メトロ南北線「本駒込」駅下車徒歩5分
- 都営バス 草63「東洋大学前」下車すぐ
- 文京区コミュニティバス B-ぐる「東洋大学前」下車すぐ